

2020年度事業 進捗報告書（資金分配団体）

- 提出日 : 2021年10月29日
- 事業名 : 希望を未来へ～こどもホスピスプロジェクト
- 資金分配団体 : 公益財団法人原田積善会

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
1-1) 資金分配団体の資金的支援を通して新規開設したい実行団体が、設立計画を具体的に立案する	事業計画、資金計画（または進捗状況）	最終目標はホスピス設置だが事業フェーズによってはそれ以前の目標となる	事業期間 終了時	各団体が事業計画、資金計画を立案済。概ね想定通りに事業が展開している。	2
1-2) 資金分配団体の資金的支援を通して新規開設したい実行団体が人材（就労者、ボランティア、協力企業など）を確保する	個人、企業からの協力（人的・資金的）	事業開始時よりも増えている	事業期間 終了時	各団体、計画通りに就労者を確保し事業をスタートしており、休眠預金事業開始前の昨年度よりも活動の内容・規模（イベントなどの頻度）ともに活性化し	2

				ているのが見て取れる。それに伴い SNS での発信や広報ツール（HP,パンフレット）なども充実し、ボランティア、企業、行政の関心（福岡）も高まりつつあり、協力者も増加傾向にある（東京）との報告を受けている。	
1-3)資金分配団体の資金的支援を通して新規開設したい実行団体が必要な資金源を確保する	資金源の数、額	事業開始時よりも増えている	事業期間 終了時	各団体ともに広報ツール（HP、パンフレット、イベントチラシなど）を充実させており（またはその準備中）、各種助成金申請（小林製薬青い鳥基金、ベネッセなど）も含め資金源確保に向けた取り組みを積極的に行っている。	2
2-1)資金分配団体の資金的支援を通して設置済みこどもホスピスが人材（就労者、ボ	個人、企業からの協力（人的・資金的）	事業開始時よりも増えている	事業期間 終了時	2 団体（東大寺、横浜）とも計画通りに就労者を確保し事業をスター	2

ランティア、協力企業など)を確保する				トしている。横浜は11月の開所に向けボランティア説明会の開催、ボランティア規程の整備など、人材の確保と継続的な活動支援に向けた準備を進めている。	
2-2)分配団体の資金的支援を通して設置済みこどもホスピスが必要な資金源を確保する	資金源の数、額	事業開始時よりも増えている	事業期間 終了時	横浜では、休眠預金事業を通じて、施設の環境整備や地域連携などの活動が活発化し、露出増加（主に SNS 発信、クラウドファンディングなど）に伴い、企業や個人からの支援の問い合わせが増えている。また、助成金申請も積極的に申請している。 東大寺は、休眠預金事業の啓発資料を、地元きたまちエリアの地域	2

				興しのメンバーと協力して制作中。また、来年2月にフォーラムを開催する予定で、多くの方の賛助、民間財団からの資金援助を呼びかける。	
3) 資金分配団体の資金的支援を通して実行団体が難病児支援を行っている関連団体と情報共有をし、支援の幅を広げられるような連携強化の基盤を作る（支援団体や活動内容の情報集約やネットワーク形成）	①資源・ステークホルダーに係るエコマップ等の内容 ②連携の事例	事業開始時よりも増えている	事業期間 終了時	現時点では、まだ特段の成果は得られていない。	2

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
1-1) 資金分配団体が主体となり、こどもホスピス・小児緩和ケアの意義や役割の理解促進につながるシンポジウムなどの開催	①シンポジウムなどの開催回数、参加者数	①増加している	事業期間 終了時	2022年2月にシンポジウム（全国こどもホスピスサミット）開催予定で準備を進めてい	2

				る。	
	②開催後の意識調査	②意識調査で理解や関心の向上が認められる	事業期間 終了時	2022年2月にシンポジウム（全国こどもホスピスサミット）開催予定で準備を進めている。	2
	③こどもホスピス設立に関心を示す個人・団体数	③こどもホスピス設立などに関する問い合わせや意識が高まっている	事業期間 終了時	2022年2月にシンポジウム（全国こどもホスピスサミット）開催予定で準備を進めている。	2
1-2) 資金分配団体が主体となり、こどもホスピス・小児緩和ケアの研修機会の提供	①勉強会などの開催回数、参加者数、参加者層	①増加している	事業期間 終了時	2022年3月に、こどもホスピス・小児緩和ケア講座を開催予定で準備を進めている。	2
	②意識調査	②意欲向上、満足度が確認できる	事業期間 終了時	2022年3月に、こどもホスピス・小児緩和ケア講座を開催予定で準備を進めている。	2
	③テキストなどの教材の作成、配布（数、利用状況）	③配布数や配布先が広がり、満足度が確認できる。	事業期間 終了時	2022年3月に、こどもホスピス・小児緩和ケア講座を開催予定で準備を進めている。	2

1-3) 資金分配団体が主体となり、実行団体の実践力の基盤強化のための研修機会の提供	実行団体からのポジティブなフィードバック	研修の成果を事業に生かせたという肯定的な感想が聞かれる。	事業期間 終了時	会計研修、評価研修を実施済み。	2
2-1) 資金分配団体が主体となり、設立準備活動の効率化を目指し、各地のこどもホスピスおよび設立準備団体間で情報共有ネットワークを形成	①定期勉強会などの開催数、参加者数	①開催数が増加する	事業期間 終了時	実行団体協議会を開催(9月末までに1回)	2
	②相互研修や視察の機会(数、種類、参加者数)	②研修や視察の機会が増加する	事業期間 終了時	2022年2月のサミットの後に横浜こどもホスピス視察を計画中。	2
	③ネットワークでの情報共有の満足度	③実行団体に対する連携に関する意識が高まっている	事業期間 終了時	実行団体協議会は1回開催。今後2-3ヵ月に1回の頻度で開催予定。	2
2-2) 資金分配団体が主体となり、各地のこどもホスピスおよび設立準備団体が協力して共通の声として広報・資金調達活動を行う基盤ができる	①共通課題やニーズの把握・共有(課題認識、調査)	①共通課題に応じて、連携して広報・資金調達などを行った実績が 出来ている。	事業期間 終了時	現時点では、まだ実績は出来ていない。	2
	②協力して行う広報・資金調達活動の内容	②共通課題に応じて、連携して広報・資金調達などを行った実績が 出来ている。	事業期間 終了時	現時点では、まだ実績は出来ていない。	2
3) 資金分配団体が主体となり、住民、企業、医療・福祉関係者の理解促進につながるテーマで広報啓発活動(シンポジウム、勉強会、啓発活動など)実施	①勉強会やフォーラムへの参加者(個人、企業)の数・割合・多様性、	①増加し、多様化している。	事業期間 終了時	2022年2月にシンポジウム、3月に講座を開催予定。	2
	②メディア露出(記事	②露出の頻度や内容などが充実し	事業期間	2022年2月にシンポジ	2

	や媒体) の数・内容	ている。	終了時	ウム、3月に講座を開催予定。	
	③理解や支援に対する関心度合・内容(アンケート)	③意識調査などで理解や関心の向上が確認できる。	事業期間 終了時	2022年2月にシンポジウム、3月に講座を開催予定。	2
	④企業連携など支援形態の事例	④支援形態が多様化し、企業連携などの幅が広がっている。(参入しやすくなっている)	事業期間 終了時	2022年2月にシンポジウム、3月に講座を開催予定。	2
4) 資金分配団体が主体となり、行政の関心とコミットメントを引き出すアドボカシー活動を展開	行政への政策提言に向けた情報の共有(国内外の研究、統計データなどの収集・提供)	資金分配団体による情報収集・共有により、行政への説得力が増したという肯定的な意見が得られる	事業期間 終了時	現時点では、まだ実践できていない。	3

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A:変更項目 b 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

2022年2月、3月のイベントでは、感染予防を考慮し、ハイブリッド開催（シンポジウム）やオンライン開催（講座）を予定している。

6. 実行団体の進捗に関する報告

各団体、概ね計画通りに進んでいる。

③広報（※任意）

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

情報発信サイト OVO（共同通信 5月10日）『こどもホスピス、休眠預金が支援 5団体に計8700万円』

2.広報制作物等

3.報告書等